

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立日宇中学校

所在地 佐世保市日宇町2181番地
校長名 中野 一史
生徒数 1学年206名、2学年186名、3学年197名
全校 589名（20学級 うち特別支援4学級）
校訓 「自主・努力・敬愛・健康」



1 日宇中学校の「特色ある学校づくり」について

本校の教育目標であり、「特色ある学校づくり」のテーマでもある「豊かな心を持ち、進んで学び、健やかでたくましく行動する生徒の育成」の実現に向けて、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) 学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む学校
- (2) 自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む学校
- (3) 読書に親しむ学校
- (4) 地域とともにある学校

2 実践内容・成果

(1) 学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む学校

①学力向上の取組

学力調査の結果・分析から「学力調査結果後の課題改善のための取組について」をまとめ、各教科こだわりの取組を設定・実践したことで、12月に1・2年生に実施したリベンジテストにおいて、向上を見ることができました。



②体力の向上の取組

5月下旬から6月上旬にかけて実施した新体力テストの結果・分析をもとに保健体育科の授業を中心に課題が残る項目の記録向上を図りました。また、部活動でも体力・技能の向上を意識して取り組み、佐世保市中学校体育大会では、10競技84名の生徒が県大会に出場し、5競技が九州大会、2競技が全国大会への出場を果たしました。新人大会においても1競技が九州大会優勝の成績を残しました。



(2) 自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む学校

① 外部講師等による講演会・演奏会の実施

外部講師等を招いての講演会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、リモート式と対面式を使い分けながら実施しました。「困難を乗り越える力」、「情報モラル」、「命の大切さ」、「働くことの意義」などの講話で本物に触れる機会は、実感を伴う理解や経験となり、貴重な学習の場となりました。

6/20(月)「輝くいのち、大切なあなたへ」

講師：長崎県看護協会看護師 山口氏
(3年生・保護者対象)

2、3年生に性教育講演会を実施しました。「命の現場から伝えられることを」として「二次性徴」「妊娠」「恋する心を考える」「性感染症」等について説明をしていただきました。講話を通して、「命の大切さ」「相手を思いやる大切さ」について学ぶことができました。

11/22(火)「輝くいのち、大切なあなたへ」

講師：長崎県看護協会看護師 江頭氏
(2年生・保護者対象)



7/13(水)「学力アップ・体カアップにつながる栄養講話」

講師：学校栄養職員 井石先生 桃野先生
(1年生対象)

「バランスのよい朝ごはん」、「学力・体カアップのための食事」、「給食のパワー」について学びました。

9/13(火) 高校生出前授業「食品ロスを考える～給食の残食を減らそう～」

講師：佐世保南高校3年生2名
(2年生対象)

本校卒業生である佐世保南高3年生2名が来校し、高校の「総合的な探求の時間」に取り組んでいるSDGsの取組について報告してくれました。SDGsを身近な問題から考えてもらおうと、「給食の残食を減らそう」をテーマに話を進めてくれました。



9/30(金)、10/6(木)、10/14(金)職業講話

講師：広田幼稚園 野田氏

株式会社ヒューマングループ 内海氏

株式会社FEA 木村氏 有福ホーム 山崎氏

佐世保陸上自衛隊 大神氏 能所氏 松本氏

(2年生対象)

職場体験学習の代替として2年生に職業講話を実施しました。仕事の内容だけでなく、人生を歩んでいくために必要なことについてもお話をいただきました。生徒たちは真剣な表情で話を聞き、自分の進路について考えを深めることができました。



10/25(火)「生き方発見～困難を乗り越えて」

九州文化学園高等学校教諭 前川 氏
長崎県立佐世保東翔高等学校教諭 中村 氏
長崎犯罪被害者支援センター 嶋田 氏
(3年生・保護者対象)

前川先生は、高校時代に交通事故で夢を絶たれようとしたとき、吹奏楽部顧問であった中村先生からの教えや励ましを糧にして、リハビリに専念しました。その苦境を乗り越える中で「やると決めたら諦めない」「きついときにもうちょっと頑張り続ける。(人との比較でなく対自分で考える)」ことの大切さを事故や挫折から学んだと生徒たちに伝えていただきました。



11/8(火)情報モラル講座

「スマホ・ネット・ゲームを考えよう～今日の自分を守るために～」
長崎県メディア安全指導員 大町 氏
(2年生・保護者対象)

「依存」「スマホ利用時間・学習時間と成績の関係」「睡眠への影響」「ネットトラブル」等、気をつけてほしい内容とともに、情報の偏りなど、利用時に注意すべき内容について丁寧に説明していただきました。

12/6(火)薬物乱用防止教室

長崎国際大学特任教授 山本 氏
(3年生・保護者対象)

薬物の身体への影響や薬物依存などについて、ポイントを絞ってわかりやすく説明をしていただきました。

②体育大会のパネル制作・グラウンドフェンスへの掲示

コロナ禍であっても、生徒たちのがんばっている姿を保護者、地域住民にアピールする1つとして美術部による虎をモチーフとしたパネルを制作し、体育大会後もグラウンドフェンスに掲示しました。来校者に勇気と希望を与えたと思っています。



(3) 読書に親しむ学校

学校司書を中心に「本は心の栄養、図書室は心のオアシス」として、図書室の環境整備に取り組んでいます。

「読むこと」は「すべての学習の基礎」となるため、今年度は、「一人平均13冊以上の本を読もう」「貸出冊数0冊者を減らそう」を目標に、生徒会図書委員会と連携し、読書活動の推進を図りました。読書週間や図書イ



バントや多読者表彰等の工夫の結果、2月末現在で、貸出冊数7,859冊、一人平均13.3冊と目標を達成することができました。

また、地域の読み聞かせサークルの皆さんに来校していただき、ストレスの緩和、心の安定、対人関係の向上、自己肯定感の構築等に繋がるように絵本を読んでいただきました。



(4) 地域とともにある学校

①地域清掃

コロナ禍で地域の皆さんを学校に招くことができないため、学校から出かけて行こうと地域清掃に取り組みました。登校中にゴミを拾ったり、地域に出かけゴミを拾ったりと、各学年で計画を立てて取り組みました。



②どんど焼き

PTAと日宇地区自治協議会（青少年健全育成会）の共催で、どんど焼きを行いました。燃える炎の前で、生徒や教職員が今年の抱負を大きな声で述べました。心温まる時間を生徒、保護者、地域住民、教職員で過ごすことができました。



③学校ホームページでの積極的発信

特色ある教育活動の様子を「日宇中学校ホームページ」で積極的に発信しました。4月から2月末までのアクセスは137,473件で、月平均は12,497件になりました。ほぼ毎日400件を超えるアクセスがあったこととなります。本校の教育活動へのご理解・ご支援、本当にありがとうございました。

④来校者を感謝の気持ちで迎える取組

来校者を感謝の気持ちで迎えるために、ウエルカムボードの作成（美術部）、花壇やプランターでの花栽培、正門や正面玄関へののぼり設置をしました。また、元気なあいさつを習慣づけようと、生徒会生活委員会が、あいさつ運動を実施しました。

本校の教育活動に対するPTAや地域からの理解・支援体制は大変心強く、日宇地区には、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうとする風土があります。今後も、保護者や地域とのつながりを大切にし、「地域とともに」特色や魅力のある学校づくりを推進していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。